

筆ヶ崎古墳群 第5次（No. 3）

所在地 : 四日市市小牧町地内、員弁郡東員町大字長深地内
位置情報 : <http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=256&ll=35.05056944444444,136.58357627118644>
調査原因 : 国道 475 号東海環状自動車道建設事業

完掘状況の空中写真撮影を行いました！！

現在、現場調査は、埋め戻し作業を行いました。今回は、調査現場を、空中写真撮影した状況を紹介します。皆さんは、記録保存するために、空中写真撮影をしているのをご存じでしたか？

写真1は、撮影用のラジコンヘリコプターです。撮影するには、天候が大きく左右します。雨天は飛ばすことは出来ませんし、風が強くても駄目です。このため、撮影には本当に気苦労をします。当日は、天候にも恵まれ良い撮影日和となり、関係者全員が胸をなで下ろしました。

写真2は、真上からヘリコプターで撮影した写真です。四角い形に写っている穴が、今から1400年前（飛鳥時代）の竪穴住居跡です。また、丸い穴がたくさん見えるのは、掘立柱建物の柱痕と思われます。

写真3は、撮影した写真を図化した図面です。

写真4は、調査現場の全景を南東上空からヘリコプターで撮影したものです。



写真1 空中写真撮影用のラジコンヘリコプター

『発掘』って何だろう？



<発掘調査の終了>

- * 発掘調査は、限られた期間の中で、国民共有の財産である文化財を記録して、後世に残すために行われます。今回は、どのようにして、記録を保存するかの一例として空中写真撮影を取り上げてみました。現地での発掘調査は、調査の計画から始まり、重機による機械掘削、人力での遺構検出作業、遺構掘削作業、図面作成、写真撮影、空中写真撮影、埋め戻し作業があります。また、室内での整理作業には、図面・写真・遺物の整理などがあり、報告書の作成を経て発掘調査の終了となります。このように、発掘調査は、現地調査だけでなく、記録を保存するため、室内での整理作業も重要な業務であることも知っていただければ有り難いです。



写真4 調査区全景（南東上空から）

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課(四日市整理所)

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号:059-363-3196/ファックス:059-363-3196

E-mail: maibun@pref.mie.jp

